

STOP!
リニア中央新幹線

ストップリニアニュース No.3

発行：リニア新幹線を考える相模原連絡会 2012.07.27

❖ 大会議室を 満席に！7月1日の学習会は市民の関心の高さを示しました ❖

リニア計画に **問題点** パート1 「大規模開発と自然保護のあり方」

日本自然保護協会 **辻村 千尋** さんの報告から



天然記念物のイヌワシです

JR東海がすすめる環境アセスメントのここが問題

- 事業が決定してからの手続きなので、事業の必要性そのものが問われても後戻りできない。
…本来のアセスメントは、計画の取りやめも含んだものであるべきなのに日本はアセス後進国
(例)ハッ場ダムや辺野古
- 環境を考えるのに県ごとのアセスメントには意味がない…全ルート通したもので実施しなくては意味がない。
- 動植物の把握ができていない…なんと長野県には、イヌワシがいないことになっている！
- 工事用の立坑や道路の計画、残土処理計画は不明なまま押し通しているの、不安な状況となっている。
- パブリックコメントへの回答が不十分で、「ちゃんとやります」というだけで具体的に何をどうするかを明かさない。



変だね

揺らぐ必要性和リニアの「安全性」



- 東海地震の際の迂回路確保というが、鉄道の寸断が一番困るのは物流。リニアは貨車を繋がないのでは？
- 明らかに人口減少が予測されるのに、従来通りの営業収益データを修正しないのは、甘い見通しに依拠する計画としか言いようがない。
- 活断層を無視？地震による影響を過小評価している。 ■南アルプス周辺は地滑り多発地帯！
- いわゆる「大深度地下法」は、開発ありきの規制緩和措置としての性格が強い。



「必要性を検討して『一度立ち止まってくれませんか』と皆で声をあげることが一番大事です。私たちは、法律や科学的根拠をもとに、正論を言い続けましょう」と辻村さんは訴えました。

学習会のお知らせ

「活断層と変動地形 – 防災対策はいかにあるべきか」

講師：東洋大学 社会学部教授

渡辺 満久先生

大飯原発再稼働問題などでテレビや講演会など大忙しの渡辺先生に相模原で講演して頂く機会ができました。

【渡辺満久先生プロフィール】東洋大学社会学部教授。新潟県生まれ。東京大学 理学系研究科地理学専攻博士課程修了。理学博士。専門は地形学（変動地形学）。

10月14日(日) 午後2時より
相模原市民会館大会議室(3F)にて





リニア計画への※そもそもの疑問

- 日本有数の断層地帯の工事だから、工事費用は増大し、経営上のマイナスとなることは必至。
- リニアのトンネルは前例がない。そのためもあって、危険度は予測がつかない。
完成後の保守には相当の努力と注意が必要となる
- 工事に伴う地下水への影響について、土木業界は工事後の追跡調査をしていない。にもかかわらず無責任にも
「過去には、地下水に悪影響が出たという例がない」という言い方をする。
- ズリ(廃石)処理計画が不明。<過去、鉱石のズリを水源地に埋めてしまい大々的に汚染が広がった例がある>
- トンネル内火災時、避難・脱出の誘導が不安。暗黒の中、乗客は何キロも歩けるのか？
<1972年・北陸トンネルで出火、死傷者多数の重大事故となった>
- 地上部にも、落石、土石流の危険がある。500km /時のスピードで、どうやって止まるのか？大事故につながる

さらに各駅(駅名は仮称)区間での地質の概況からは、さまざまな問題が浮かび上がってくる

- 品川～橋本 : 大深度地下方式(地表から40m以深)で施工。地下水への悪影響が心配。
☆ 座間市の水道水源地も含まれるため、しっかり調べるべき。
- 橋本～新甲府 : 水涸れと有毒ガス発生に注意。
- 新甲府～大鹿村経由で新飯田 : 中央構造線は大変大きな断層帯で、かなりの難工事となる。
- 新飯田～新中津川 : 活断層が集まっている。地層はグズグズ。その中を長大トンネルを通すので、
①岩盤の破碎・崩落 ②多量の噴出水 ③放射性ラドンガスの発生の危険がある。
- 新中津川～名古屋 : 金属鉱山が多く、工事により周辺が汚染される心配がある。
☆ また、現地産業を支える陶土層を保全するための配慮は不可欠。
- 名古屋市街地 : 大深度地下方式により、地盤沈下、地下水の枯渇が心配される。

☆気になるシリーズ

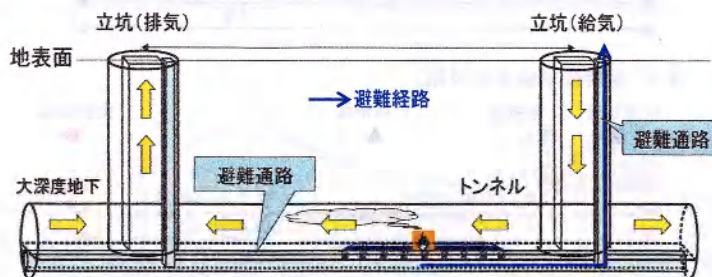
リニア中央新幹線は全体の8割がトンネルです。駅と駅の間は数十キロもあり途中で事故のため停車したら無事に地表まで脱出することは簡単ではありません。

大深度地下のトンネルはこの図のように5~10kmおきに換気用の立坑がありますが停車する位置によっては何kmも避難のため歩いて移動しないと脱出できません。

過去の事例でもトンネル内での事故は大災害につながる危険性があります。

JR東海は「安全対策はとる」と言っていますが具体策は示していません。(J・N)

リニアへの疑問 その③ “地下トンネルからの脱出は”



☆ 参加者のアンケートから
☆ 速さを追求するよりも、もっと安い運賃の電車がほしい。方向が間違っています。
☆ 工事が難しいだけでなく、走行時にもそれほど危険なものかどうかと思いました。